

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1795 号	氏名	大畑 一幸
論文審査担当者		主査教授	兼松 隆之
		副査教授	田口 尚
		副査教授	上平 憲
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究はC型慢性肝疾患の組織学的特徴の一つである肝細胞の脂肪化が肝発癌のリスク因子となるかどうかを検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>肝生検を施行したC型肝炎ウイルス陽性患者161例を追跡し、肝発癌の有無を調べ、肝発癌に寄与すると考えられている因子について統計学的手法を用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、C型慢性肝疾患において肝細胞の脂肪化は、肝発癌のリスク因子であることを明らかにした。肝細胞の脂肪化は近年、栄養と肝発癌の関連が注目されている点からも重要な知見を提供しており、今後の肝臓病学研究の発展に寄与するものと期待される。</p> <p>以上のように、本論文は肝発癌の機序の解明に貢献するところ大で、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			